

home.

Shizuoka Saiseikai Communication Paper



January.2020

Vol.36

特集

静岡済生会のがんトータルケア
～治す医療と支える医療～

肺がんと 向き合う

患者さん目線でのトータルケア

3_がん治療の現場から

医事課のサポート体制

4_DOCTOR'S VOICE

不整脈科

5_済生会ニュース

日本平久能山スマートIC開通

静岡医療福祉センター児童部と統合しました

6_地域連携による安心の医療

医療連携医のご紹介

7_インフォメーション

市民公開講座のお知らせ

就労支援相談会開催

がんサロン開催



肺がんと、向き合う。

肺がんは大腸、胃に次いで多いがんです。

死亡率はがんの中で最も高く、治りにくい病気。高齢になるほどその傾向は高くなります。

当院の呼吸器内科は、肺がんの疑いのある患者さんから、病状の進行などにより手術に適さない患者さんまで多くの診療実績を重ね、関係部門と共にチームで「治す」と「支える」に取り組んでいます。

肺がんってどんな病気？

Dr.に
聞きました!



進行の早い肺がん、遅い肺がん

肺がんには大きく分けて2つの種類があります。「小細胞肺がん」は非常に増殖が速く、中には半年前のレントゲンには映っていないのに、わずか半年で巨大な腫瘤を形成したり、脳や骨などへの転移で様々な症状が出現する場合があります。一方で「非小細胞肺がん」は比較的進行がゆっくりで、数年間かけて数mm～数cm程度に増大するケースもしばしばみられます。よく年をとるとがんの進行が遅くなると言われますが、肺がんの種類によっては必ずしもそうではありません。

画期的な治療薬が登場しています

最近数年間で肺がんの内科的治療は非常に大きく進歩しました。ノーベル賞を受賞した本庶佑先生の研究で一躍有名になった「免疫チェックポイント阻害薬」が、治療の進歩を大きく牽引しています。従来ステージⅣの進行期非小細胞肺がん、抗がん剤治療を受けた場合の1年生存率は30～40%とされてきましたが、最近の報告では5年生存率のデータも出始めています。さらに既存の抗がん剤や放射線療法と併用することで、より良い治療効果が得られるようになっています。抗がん剤治療中の患者さんの日常生活には、副作用を抑える支持療法の発展も非常に大きく貢献しています。未だに進行期肺がんは治癒が難しい病気ではありますが、治療成績は着実に良くなっています。当院でも免疫チェックポイント阻害薬や化学療法あるいは放射線療法を併用した治療を行っています。

予防のお話

肺がんの原因は喫煙や受動喫煙、大気汚染や職業性暴露などの環境や食生活、放射線や薬品、あるいは慢性的な呼吸器疾患など非常に多岐にわたります。その中でもやはり喫煙は非常に大きな要因です。喫煙者の肺がん発生率が高いことはよく知られていますが、受動喫煙もリスク因子として確立しています。肺がんの予防を考えるにあたっては、まず第一に禁煙が挙げられます。肺がんは早期に発見し適切な治療を行えば治癒も望める疾患です。定期的な検診は早期発見に役立ちます。

呼吸器内科 科長

Dr.草ヶ谷 英樹 Hideki Kusagaya

日本内科学会認定内科医／日本内科学会総合内科専門医／日本呼吸器学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医／医学博士

さまざまな専門家が
患者さんを支える

静岡済生会のがんトータルケア

～ 治す医療と支える医療～

適切な治療はもちろん、緩和ケア、
治療による副作用対策、就労や医療費の相談など、
治療からその後のサポートまで
切れ目のないケアに力を入れています。

治療面

ベストな医療が受けられる 体制を整えています

病状も家庭環境もそれぞれの患者さんがベストな治療を受けられるよう、内科と外科など診療科同士や、病棟看護師、化学療法センターなどが緊密に連携しています。

また他院とも情報交換を行い、連携を図っています。

辛い症状は緩和医療科が マネジメントします

当院には、がん向き合う患者さんの精神的・身体的な辛さを和らげる緩和医療科があります。

抗がん剤の副作用の緩和や再発がんの苦痛の緩和など、専門の医師がケアにあたっています。

生活面

退院後の生活を考えた 治療やサポートを行います

退院後の生活の質をより良いものにするために、入院した直後から退院支援専門のスタッフがご本人の生活環境に応じた様々な支援を行っています。

一方、精神科医を中心とした、入院患者さんの心のサポートを行うチームが病気や退院後の不安の軽減に取り組んでいます。

治療費の相談・支援を 行っています

社会福祉法人の使命として、経済的事情で治療が受けられない患者さんのために、治療費に関する相談にお応えしています。

若い医師が
精力的に
取り組んで
います

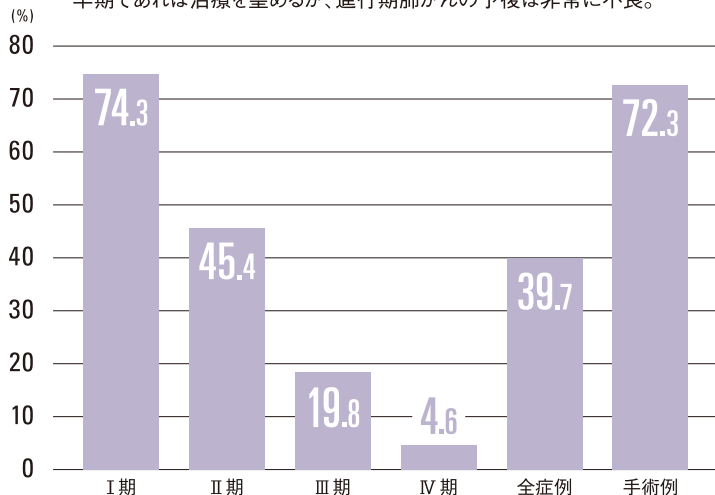
当院の呼吸器内科は2016年に再スタートして以来、スタッフ数を続々と増やし、20代～40代の若い医師がネットワークを活かして精力的に治療にあたっています。また緩和医療科や化学療法センターなどの部門が密に連携してチーム医療に取り組んでいます。手術が必要になった場合も他院との連携により充実した医療が受けられる体制を整えています。



— 肺がんの5年生存率 —

(2008～2010年初回入院治療症例)

早期であれば治療を望めるが、進行期肺がんの予後は非常に不良。



資料: 全国がん(成人病)センター協議会

医事課のサポート体制

薬や手術などの進歩で医療費は高額化しています

病気やケガで治療を受けると、医療費がいくらかかるか気になりますよね。中でもがんは、放射線治療や抗がん剤といった長期治療になることが多い上に医療技術も進歩しており、医療費が高額になりがちです。例えば肺がんで免疫チェックポイント阻害薬を使用して2週間入院した場合、3割負担の患者さんで約20～30万円が自己負担となります。また胃がんの腹腔鏡手術で2週間入院した場合は、3割負担で約60万円程かかります。

医療費が高額になった場合「限度額適用認定証」を利用すれば、窓口負担が一定の限度額まで抑えることができます。当院では事前にお渡しする「入院案内」に申請方法を記載し、詳しく説明を行っています。入院予定日までにご加入の医療保険（健康保険組合、市町村など）で申請を行きましょう。なおこの制度は外来の医療費も対象となります。

安心して治療を受けていただくための制度があります

医事課では患者さんが治療を受ける前におよその医療費を算出してお伝えすることで、安心して治療を受けていただけるようサポートしています。また各種の公的制度もご紹介しています。

年間の医療費が一定額以上になると所得税の控除が受けられます。確定申告する際に領収書が必要になりますので、医療機関で発行する領収書は必ず保管しましょう。

患者さんの
お金に対する
疑問や不安に
お応えします

医療費に困った時はこちらにご相談ください

医療費のお支払いにお困りの方はお近くのスタッフにご相談ください。医事課をはじめ医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、その方にあった制度をご提案します。

病気やケガの治療には何かとお金がかかりますので、公的制度や民間の医療保険などをうまく活用することもおすすめします。

患者さんへの公的制度

医療	限度額適用認定証 ▶ 医療費の窓口負担を抑える
	身体障害者手帳 ▶ ストーマパOUCH購入時助成、所得税等の控除
生活	医療費控除 ▶ 高額医療費を支払った時の所得税控除
	傷病手当 ▶ 休業中の所得保障
	障害年金 ▶ 障害が残った時の生活保障
	介護保険 ▶ 在宅介護サービスの利用負担軽減



医事課
酒井雅人 Masato Sakai

DOCTOR'S VOICE

ドクターズ
ボイス

／ 私たちから皆さまに届けたい声がある ／

vol.56

不整脈科

NAME

古屋敷 吉任

Yoshitaka Furuyashiki

医長／日本内科学会認定内科医／日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医

DATA.1

心臓の病気を担当する診療科として、当院には循環器内科、胸部・心臓血管外科、不整脈科があります。2014年新たにスタートした不整脈科は、この春から古屋敷吉任医師を迎え、待望の常勤医2名体制になりました。

DATA.2

広島県出身。静岡の病院で研修医時代を過ごした後、循環器内科医として神奈川県横須賀市で経験を積み、2019年4月から現職。家では小学3年生の男の子と1年生の女の子のパパ。



VOICE

長谷部先生のもっと勉強したいと当院にきました

当院に来る前は循環器内科に所属していました。研修医時代に救急センターを経験し、心筋梗塞のカテーテル治療を身に付けたいと思ったのが循環器内科医を目指した理由です。7年間経験を積んできましたが、当科の科長を務めている長谷部先生のもっと不整脈の勉強をしたいと、妻の出身地でもある静岡に赴任しました。

長谷部先生はずっと一人でこの科を背負ってきただけあって、臨床工学技士と共にしっかりした診療体制を作り上げていて、非常に勉強になっています。特に当科の特徴は「カテーテルアブレーション」という治療の実績が豊富なことです。

カテーテルアブレーションは、不整脈の中でも高齢者に多い「心房細動」という病気の治療法として有効です。心房細動は、心臓の上半分の心房が異常に震えるため血流が減って脈が乱れる病気で、動悸や息切れなどを招く上、脳梗塞や心不全の原因にもなります。そこで、血管にカテーテルを挿入し、心臓内の一部を焼いて電気回路の一部を遮断することで、心房の異常な動きを抑える治療を行います。この治療の登場で心房細動は根治も可能になりました。

この治療ができる病院は限られており、当院では、治療後の出血や合併症などのケアにもきめ細かく目を配り、退院してからもフォローしています。

自分が患者さんならどうかと考えて行動しています

患者さんを診る上で僕自身が最も大切にしていることは、「自分が患者ならどうか」と考えることです。不整脈の専門知識がない患者さんにわかりやすく伝えるにはどうするか、自分が80歳ならどの治療を選ぶかなど、自分のこととして捉えるようにしていますね。

済生会に来てみて、各診療科がしっかりしていて診療科間の連携も取れている印象を受けました。研修医など若手の教育体制も充実している環境です。ここでさらに不整脈の治療経験を重ねて成長し、外来の患者さんもより多く担当できるようになるのが目下の目標です。

MINI
VOICE

定期的に脈拍をチェックしていますか？

脈拍は家庭用の血圧計を使えば手軽にセルフチェックできます。脈拍数が同時に表示されるのでエラーメッセージばかり出たり、不整と表示される場合は不整脈の可能性があります。高齢の方やしばらく健康診断を受けていない方は特にご注意ください。

ご相談
ください！



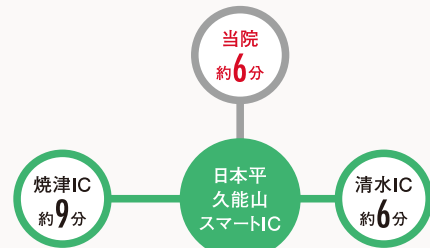
静岡済生会ニュース

S A I S E I K A I N E W S



当院へのアクセスが より便利に

昨秋、東名高速道路「日本平久能山スマートインターチェンジ(IC)」が開通しました。このスマートICは当院近く(車で約6分)にあり、開通によって清水方面からの救急搬送時間が短縮でき、またアクセスの向上により静岡市外の皆さまにも幅広くご利用いただけるようになりました。



※IC間の所要時間はNEXCO中日本サイトより



静岡医療福祉センター児童部と 統合しました

10月1日、静岡医療福祉センター児童部は、医療機関としては静岡済生会総合病院と統合し、福祉施設としての名称を「静岡済生会療育センター令和」に変更しました。

児童部は昭和28年4月に肢体不自由児施設「静岡療護園」として発足、その後昭和61年4月に「児童部」に移行しました。児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設としての機能を持ち、併せて18才以上の方を対象として実施している療養介護機能も継続していきます。今後、医師、看護師等の人材の確保、設備の充実など、組織的に一体化することによって、医療提供体制の維持・強化を図ってまいります。



連携医のご紹介

地域の中核を担う総合病院として、地元の医院との連携も欠かせません。

静岡市駿河区

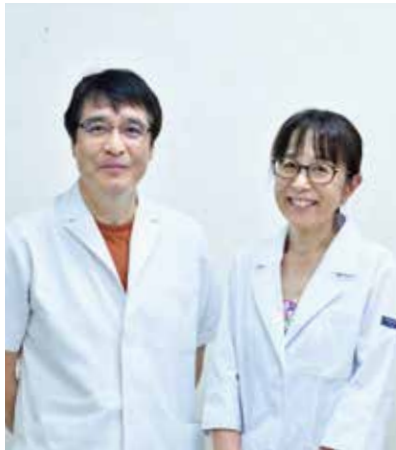
いわ ない か い いん

岩はし内科医院

診療科目 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・小児科

〒421-0103 静岡市駿河区丸子2丁目2-8-5

☎054-259-0347



岩橋 昌雄 院長 岩橋 美智代 先生

地域の方の憩いの場となるような
医院づくりを。

先代が昭和49年に開院して以来、地域の皆さまのかかりつけ医をモットーに診療を行ってきた。現在は昌雄医師と美智代医師の2人体制になり、小児科診療も行っているため、小さなお子様からご年配の方まで幅広く利用されている。

今夏より施設のリニューアルオープンに向け、一旦仮施設へ移転。「リニューアル後もアットホームな雰囲気は残しつつ、より多くの方に気軽に来院していただけるような医院にしたい」と院長。

休日には2人で山へ行き、トレイルランニングを楽しんでいるという。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:00～12:00	●	●	●	●	●	●	×
午後の部 15:00～18:00	●	●	×	●	●	×	×

[休診日] 水曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日

※土曜は8:30～12:00

ACCESS

- ・駐車場完備
- ・静鉄バス「鎌田四ツ角」下車 徒歩2分

※現在は仮診療所にて診療中



静岡市駿河区

あおしま せい けい げ か

医療法人社団 明吾会 青島整形外科

診療科目 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

〒422-8007 静岡市駿河区聖一色434-4

☎054-267-3330 web▶ <http://meigokai.or.jp>



青島 賢明 院長

日常生活や人生における
楽しみをサポート。

整形外科として患者さんの体を治すだけでなく、ホームドクターとして最良の医療を提供している。「無駄のない待ち時間」を心掛けており、受付の自動化や自動精算機による会計でスムーズな診察が可能。また自賠責保険により通院されている方のためには、毎週月・水・金は夜間のリハビリを行っており、どちらも患者さんからは好評である。

医院の隣には「通所リハビリテーション青山(せいざん)」を併設し、整形外科に特化したリハビリを幅広く行っている。院長自身、休日にはスポーツジムへ通い、体を鍛えているそうだ。

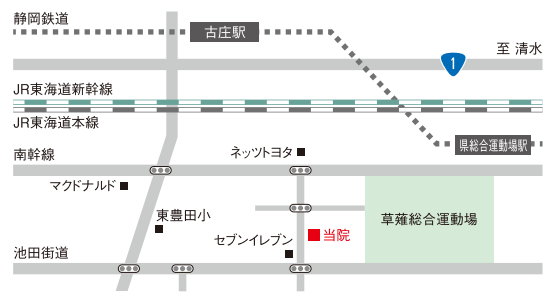
診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30～12:30	●	●	●	●	●	●	×
午後の部 14:30～18:00	●	●	●	×	●	×	×

[休診日] 木曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日

※個別リハビリ希望の方は要予約

ACCESS

- ・駐車場完備
- ・静鉄バス「聖一色西」下車 徒歩3分



INFORMATION

静岡済生会

市民公開講座

寝たきりにならないために知っておきたい 背骨の知識

背骨の変形や椎間板の障害は加齢に伴う変化が大半です。寝たきり予防、健康寿命の増進のために「背骨」を知りましょう。理学療法士から腰痛体操も紹介します。

日時 2020.1/25(土)
10:30~12:00 (受付10:00~)

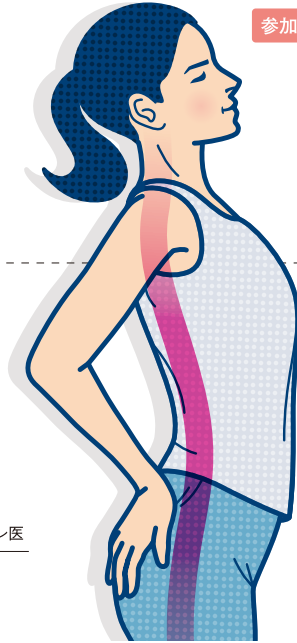
会場 静岡済生会総合病院 北館地階講堂

お申込み TEL.054-285-6171 (代表)
静岡済生会総合病院 企画広報室
(平日 9:00~17:00)

- 参加無料
- 「元気静岡マイレージ」スタンプ対象講座



整形外科 部長
伊藤 英人
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
リハビリテーション科 技士長代行 理学療法士
石井 光治



参加無料

就労支援相談会 開催のお知らせ

当院にハローワークの職員が出張し、当院と協働して患者さんへの就労支援をおこなう「就労支援相談会」を毎月開催しています。治療継続中の患者さんから就労を希望する方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。

日時 1/10(金)・2/7(金)・3/6(金)
13:00~16:00

会場 静岡済生会総合病院 西館2階 面談室
(がんトータルケアセンター内)

対象 治療を受けながら、生き甲斐や生活の安定のために就職を希望する長期療養者

- 当日のご相談もお受けします(予約優先)

お問い合わせ TEL.054-285-6171 (代表) 医療相談室 (平日 9:00~17:00) ●参加無料 ●他院治療中の方も参加できます

事前申込み不要 参加無料

がんサロン 開催のお知らせ

当院では、がん患者の交流・情報交換・相談の場として、がんサロンを開いています。当院に通院されていない患者さんでも、自由に参加可能です。ミニ講座もありますのでお気軽にご参加ください。

日時 1/16(木)・3/19(木) 14:00~15:30

ミニ講座 ▶ 1/16(木) 14:00~14:15

鉄分を上手に摂って貧血予防
(がん病態栄養専門管理栄養士)

会場 静岡済生会総合病院 南館1階
カフェ「ハニー・ビー」

対象 がん患者さん、ご家族

私達は暖かい思いやりの心で質の良い医療・福祉サービスを実践します

社会福祉法人 済生会
静岡済生会総合病院
Shizuoka Saiseikai General Hospital

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号
TEL.054-285-6171 FAX.054-285-5179
<http://www.siz.saiseikai.or.jp/hosp>

済生会とは？

明治44年、明治天皇より済生勅語とともに下賜されたお手元金150万円を基金として、当時の総理大臣桂太郎が「恩賜財団済生会」を創立。以来、済生会では創立の精神を引き継ぎ、保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んでいます。